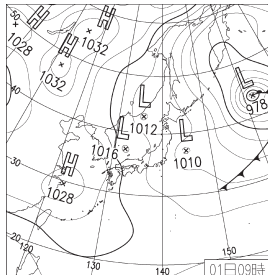


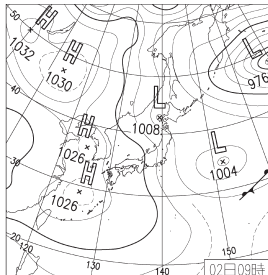
日々の天気図

— No. 207
2019年4月

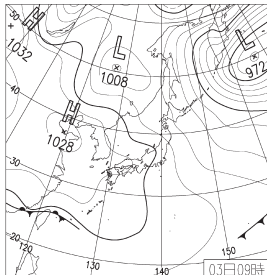
- ・2日、輪島の積雪2cmは4月として23年ぶり。
- ・5日、石垣島で非常に激しい雨。道路冠水や車両水没など発生。
- ・6日、宮城県で強風のため住宅損傷や電車遅延など発生。けが人も。
- ・下旬、沖縄・奄美の旬平均気温が年差+2.3℃で、高温の記録更新。(気象庁予報部予報課)



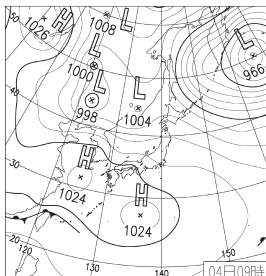
1日(月)金沢市サクラ開花
日本海の2つの低気圧や寒気の影響で、四国～東北で雨や雪。広島県高野の日降雪量24cmは4月1位を大きく更新。佐賀市、和歌山市、松江市、横浜市でサクラ満開。



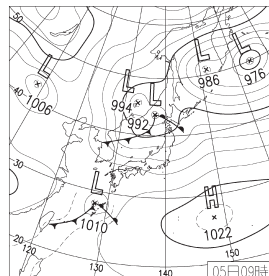
2日(火)上空寒気、各地で発雷
東日本の上空約5500mに-30℃以下の寒気が流入。東日本～北日本の日本海側を中心に雪が降り、大気の状態が不安定となって各地で発雷。新潟県聖籠町で突風の被害も。



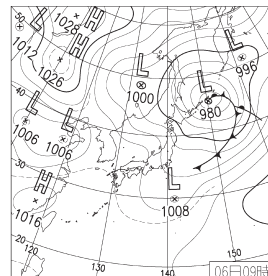
3日(水)朝の冷え込み強い
冬型の気圧配置で東～北日本の日本海側では所々で雪。強い寒気の流入と放射冷却により、各地で朝の冷え込み強まる。関東～東北では4月の最低気温の低い記録を更新した所も。



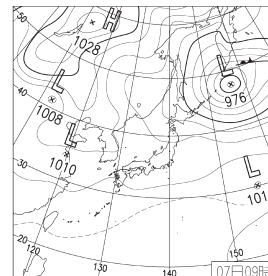
4日(木)西日本中心に花見日和
西日本～関東は上空の寒気の影響が次第に薄れ、高気圧に覆われて概ね晴れ。北陸～東北は低気圧や寒気の影響で所々雨や雪。高松市、大阪市、名古屋市などからサクラ満開の便り。



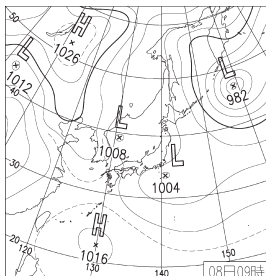
5日(金)本州や四国で気温上昇
低気圧の影響で沖縄や九州は雨。北日本は雨や雪。暖かい空気が流れ込んだ本州や四国では気温が顕著に上昇。埼玉県鳩山で最高気温が25.2℃に達し、関東で今年初めての夏日。



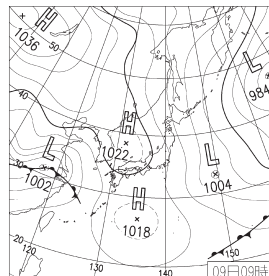
6日(土)西日本～東海で黄砂
寒気の影響で北日本は所々で雨や雪。その他は高気圧に覆われて概ね晴れ。西日本で気温が上がり、最高気温が6月並の所も。大分市、京都市、金沢市などサクラ満開。



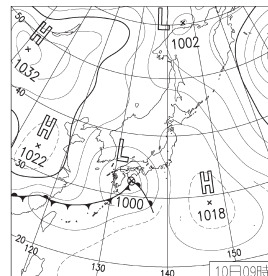
7日(日)波照間で全国初真夏日
沖縄～東日本は晴れて気温が上昇し夏日の所も。沖縄県波照間は最高気温が30.1℃に達し今年全国初の真夏日。北日本は気圧の谷の通過で所々雨や雪。徳島市、甲府市サクラ満開。



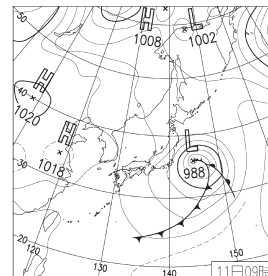
8日(月)西～東日本で雷雨
低気圧や上空の強い寒気の影響で、西日本は未明から朝まで、東日本は午前中と夕方以降に雨。大気の状態が不安定で雷を伴う所も。北日本は気圧の谷の影響で所々雨や雪。



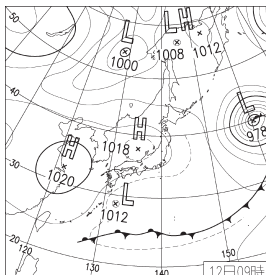
9日(火)西から天気下り坂
華中に停滞する前線上に低気圧が発生して東北東進。夜には九州を中心に雨。長崎県福江で33.5mm/1h。寒気の影響で東～北日本では雪の所も。福島県松枝岐では日降雪量21cm。



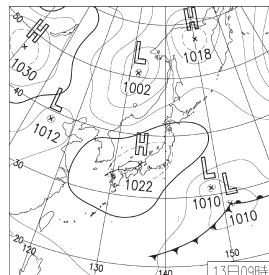
10日(水)低気圧の通過で雨や雪
前線を伴った低気圧が本州付近を東進。北海道を除き広く雨となり、西日本～東日本山沿いと東北では雪。鹿児島県吉ヶ別府で42.5mm/1hの激しい雨。栃木県日光で日降雪量26cm。



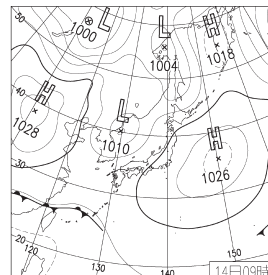
11日(木)低気圧東海上へ
低気圧は日本の東に遠ざかり、低気圧や寒気の影響が残る山陰～北陸、北日本で雨や雪。西日本～東日本太平洋側は概ね晴れたが、沖縄や九州は夜には気圧の谷の影響で雨。



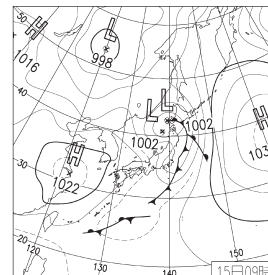
12日(金)山形市サクラ開花
西日本や北日本を中心に広く晴れたが、上空の寒気の影響で午後にはわか雨の所も。沖縄・奄美や東日本太平洋側では低気圧や気圧の谷の影響により所々で雨。新潟市サクラ満開。



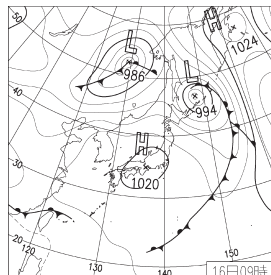
13日(土)広い範囲で空気が乾燥
西日本～北日本は本州の高気圧に覆われて広く晴れ。空気が乾き、広い範囲に乾燥注意報を発表。沖縄・奄美は湿った空気の影響で曇り。長野市でサクラ開花。



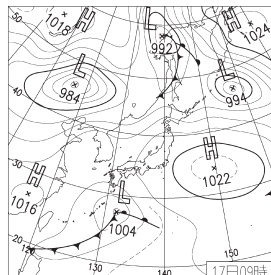
14日(日)天気下り坂
高気圧の中心は日本の東に移動。日本海の低気圧が東に進み、全国的に天気下り坂。西日本では午前中から、東日本では夕方から雨。沖縄は前線の影響で曇りや雨。



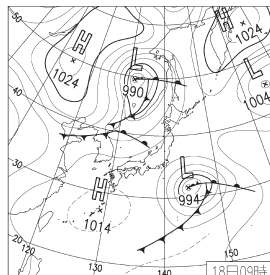
15日(月)北日本を低気圧が通過
東日本日本海側と北日本は低気圧や寒気の影響で雨や雪が降り、雷を伴う所も。南西諸島や東日本太平洋側は前線の通過で朝まで曇りや雨、その後は次第に晴れ。



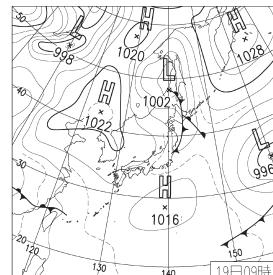
16日(火)西～北日本は広く晴天
西日本～北日本は高気圧に覆われ、穏やかに晴れ。沖縄・奄美は低気圧や前線の接近で次第に雨。沖縄県志多阿原では午後68mm/1hの非常に激しい雨。秋田市でサクラ満開。



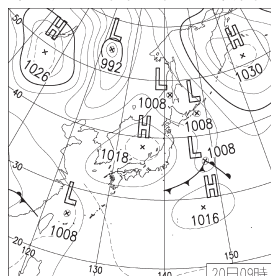
17日(水)北日本で最高気温上昇
北日本は晴れて気温が上がり、北海道では最高気温が真夏並の所も。北海道鶴居の27.1℃は全国1位。南西諸島～東日本は日本の南の低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨。



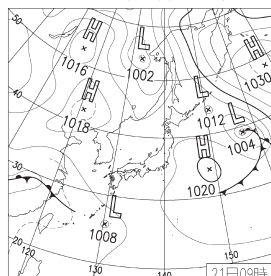
18日(木)東北北部でサクラ開花
全国的に晴れて気温が上昇。宗谷岬の最高気温23.1℃など、北海道北部では最高気温の4月1位を更新した所も。北日本は前線の接近で夜には曇り。盛岡市、青森市でサクラ開花。



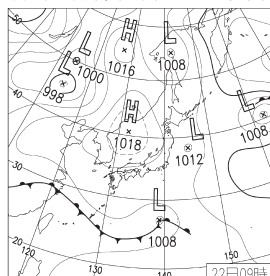
19日(金)前線通過後に寒気流入
沿海州の低気圧からのびる前線や寒気の影響で、山陰～北陸や北日本は午前中を中心に雨で雷を伴う所も。関東は大気の状態が不安定となり、夕方から所々で雨。



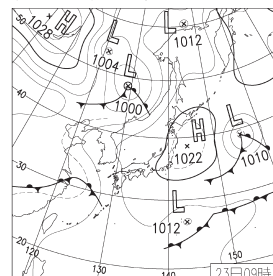
20日(土)沖縄県で猛烈な雨
前線や低気圧の影響で沖縄は雨。与那国島で未明に87mm/1h。西日本～北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。熊本県人吉28.8℃など西日本では夏日の所も。秋田市でサクラ満開。



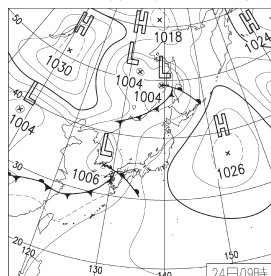
21日(日)西日本で広く夏日
西日本～北日本は高気圧に覆われて晴れや曇り。大分県竹田で最高気温が29.8℃に達し、4月1位のタイ記録となるなど、九州を中心に広く夏日となる。稚内市でウグイス初鳴。



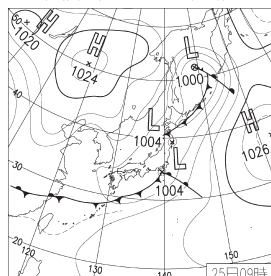
22日(月)東北北部でサクラ満開
高気圧に覆われ全国的に晴れて気温上昇。大分県日田と高知県江川崎の最高気温は30.2℃で、沖縄県以外で今年初の真夏日。東京は今年初の夏日。盛岡市、青森市でサクラ満開。



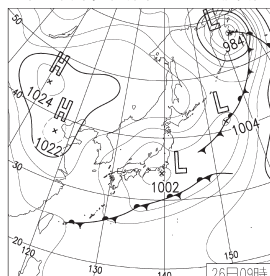
23日(火)日本海側で気温上昇
高気圧に覆われ東日本～東北で概ね晴れて、日本海側を中心に気温上昇。南西諸島や西日本、北海道は前線や湿った空気により次第に雨。鹿児島県笠利で40.5mm/1hの激しい雨。



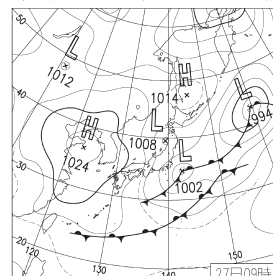
24日(水)全国的に雨
対馬海峡の低気圧や前線の影響で西日本～東日本は雨。和歌山県潮岬では夜に60mm/1hの非常に激しい雨。北日本は寒冷前線の接近で夜には雨。函館市、札幌市でサクラ開花。



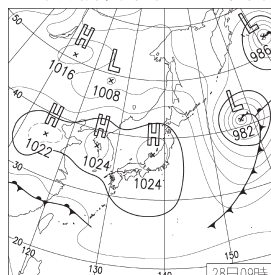
25日(木)低気圧は日本の東へ
関東の低気圧や本州付近の気圧の谷の影響で、西日本～東日本は午前中を中心に雨。沖縄・奄美は前線の活動が活発で所々雷雨。北日本は低気圧や前線の通過で雨や曇り。



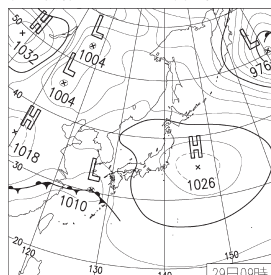
26日(金)北日本で冷える
低気圧や気圧の谷の影響で西日本日本海側や東日本は曇りや雨。北日本は気圧の谷の接近で雨となり山間部では雪。北日本太平洋側は気温が低く、最高気温が3月中旬並の所も。



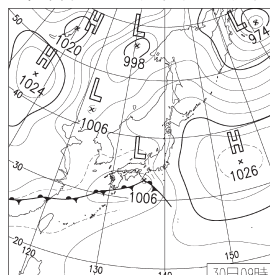
27日(土)東～北日本で雨や雪
低気圧が日本の東に進み次第に西高東低の気圧配置。西日本の日本海側や東日本～北日本は雨や雪。前線の停滞する先島諸島と上空寒気が通過した東日本では雷雨の所も。



28日(日)行楽日和
高気圧に覆われ、西日本～北日本では日中は概ね晴れて風も弱く行楽日和に。九州は気圧の谷が接近し夕方以降所々で雨。南西諸島は前線や低気圧の影響で雨。帯広市サクラ開花。



29日(月)札幌市などサクラ満開
沖縄～西日本は前線を伴った低気圧の影響で広く雨が降り、鹿児島県屋久島で53mm/1hの非常に激しい雨。北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。函館市と札幌市ではサクラが満開に。

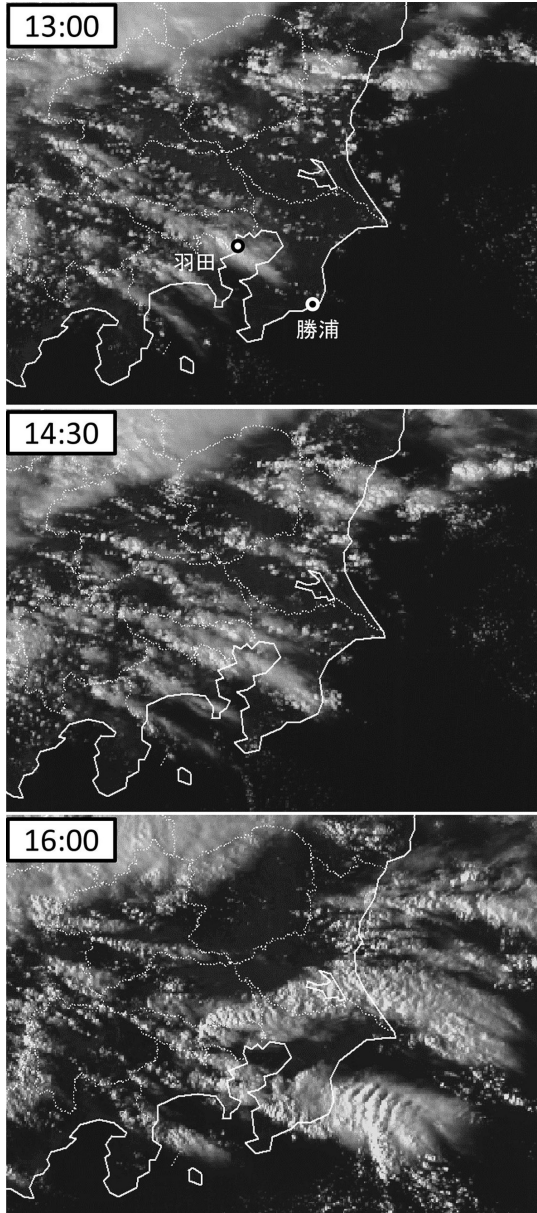


30日(火)平成最後の日は雨
日本の南の低気圧や前線、湿った空気により沖縄・奄美～東北は雨。北海道は概ね晴れたが夜には雨に。沖縄・奄美の所々で最低気温が高い方から4月1位。帯広市サクラ満開。

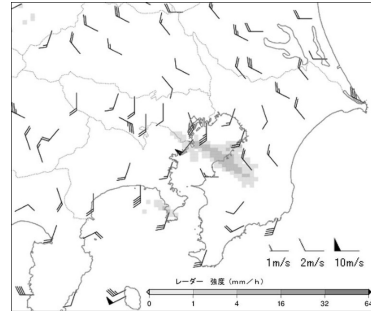


今月のひまわり画像—2019年4月

羽田にダウンバーストをもたらした積乱雲



第1図 2019年4月2日13時～16時（日本時間）の90分毎の関東地方における可視画像。



第2図 2019年4月2日13時20分のレーダー降水強度とアメダスの風。

2019年4月1日～2日、日本付近の500hPaにはこの時期としては記録的な寒気が流入した。2日09時（日本時間）の輪島の500hPaの気温は -38.6°C で、4月としては1957年の統計開始以来第2位となる低さであった。2日、関東地方は午前中快晴であったが、午後になると南部を中心に積乱雲が発生し、局地的に発達した。第1図は2日13時～16時の90分毎の関東地方における可視画像である。対流雲の雲頂高度を T_{BB} （等価黒体温度）で見ると、5～6 kmに相当し、あまり高くなかったが、東京国際空港（羽田）では13時～15時過ぎ、断続的にダウンバーストが発生し、一時的に離着陸ができなくなるなど運航へ影響があった。また、14時台は東京湾で、15時台は勝浦付近で、16時台は勝浦の南東海上で発雷が検知された。

2日に関東地方で発生した積乱雲は、冬季と同様な特徴がみられた。関東地方では冬季、寒気を伴ったトラフの接近・通過と晴天による地上気温の上昇により、午後には大気の状態が不安定となって積乱雲が急速に発生・発達することがある。下層が非常に乾燥していると、雪やあられが降ったりすることがあり、日本海側の積乱雲と同様に気象レーダーでは弱めに映ることが多い。また、積乱雲の雲底には尾流雲が出現することがあり、雲底付近では乱気流が発生しやすくなる。羽田で同日最大のダウンバーストが発生した13時20分のレーダー降水強度は1～4 mmと弱く（第2図）、羽田では尾流雲も観測された。このような積乱雲は、発雷を伴わずに突風や竜巻が発生することがあるため、その動向には注意を要する。

（気象庁予報部予報課 原 基）